



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 株式会社 帝国電機製作所
 コード番号 6333 URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 宮地 國雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 村田 潔

TEL 0791-75-4160

四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日

配当支払開始予定日

平成30年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	10,580	13.1	1,286	40.9	1,432	43.0	954	56.9
30年3月期第2四半期	9,351	3.0	913	22.7	1,001	105.5	608	75.1

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 651百万円 (8.6%) 30年3月期第2四半期 599百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	48.30	
30年3月期第2四半期	30.02	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	33,673	25,940	76.8	1,313.12
30年3月期	32,996	25,515	77.1	1,287.54

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 25,865百万円 30年3月期 25,434百万円

「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、平成30年3月期については、遡及適用後の数値を記載しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		8.00		12.00	20.00
31年3月期		12.00			
31年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,010	1.0	2,180	6.7	2,270	4.5	1,560	1.3	78.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	20,408,138 株	30年3月期	20,400,138 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	645,583 株	30年3月期	645,538 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	19,757,445 株	30年3月期2Q	20,259,538 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢について、わが国経済は好調な企業収益を背景とした設備投資の増加等から緩やかな回復基調が続いております。米国経済は良好な雇用所得環境から個人消費の回復が続いており、設備投資についても増加が続く等、堅調に推移しております。また欧州経済については、個人消費がけん引役となって緩やかな回復基調にあります。一方、中国経済は貿易摩擦の影響等により減速傾向にあるものの、良好な雇用所得環境を背景とした堅調な個人消費に下支えられ安定した成長が続いております。

上記のように、全体としては緩やかな回復が続いておりますが、米中貿易摩擦の影響等による景気の先行き不透明感が強まっております。

このような状況の中で、当第2四半期連結累計期間において、主力のポンプ事業は、国内市場においては、設備の老朽化に伴う更新、及びメンテナンスサービス需要が堅調に推移しました。また海外市場においては、主に中国・東南アジア市場を中心に新規設備投資需要が拡大しました。その結果、ポンプ事業の売上高は、増加いたしました。一方、電子部品事業の売上高は、西日本豪雨により取引先の工場稼働に影響があったため、減少いたしました。

これらの結果、グループ全体として売上高は105億80百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加並びに粗利率が改善した結果、営業利益は12億86百万円（同40.9%増）、経常利益は14億32百万円（同43.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億54百万円（同56.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(ポンプ事業)

ポンプ事業の売上高は、国内市場においては、定量注入機器ポンプ、メンテナンス関連等が増加いたしました。中国市場においては、ケミカル機器モータポンプ、車両用モータポンプ等が増加いたしました。また、米国市場ではケミカル機器モータポンプが減少したものの、冷凍機・空調機器モータポンプ、メンテナンス関連等が増加いたしました。

その結果、売上高は94億16百万円（前年同期比15.8%増）、連結売上高に占める割合は89.0%となりました。また、営業利益は、売上の増加及び粗利率の改善により12億71百万円（同60.4%増）となりました。

(電子部品事業)

電子部品事業の売上高は8億83百万円（前年同期比12.0%減）、連結売上高に占める割合は8.4%となりました。

また、営業利益は、売上の減少等により25百万円の赤字（前年同期は76百万円の黒字）となりました。

(その他)

その他の売上高は、2億80百万円（前年同期比30.6%増）、連結売上高に占める割合は2.6%となりました。

また、営業利益は、粗利率の悪化等により、41百万円（同6.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は216億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億38百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が4億19百万円、製品が4億2百万円、原材料及び貯蔵品が5億5百万円増加したことによるものであります。固定資産は119億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億60百万円減少いたしました。これは主にのれんが1億8百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、336億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億77百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は60億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億54百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が3億83百万円増加したことによるものであります。固定負債は16億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、77億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億52百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は259億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億24百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が7億17百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は76.8%（前連結会計年度末は77.1%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成30年5月14日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,713,079	9,132,781
受取手形及び売掛金	7,637,305	7,375,051
製品	1,129,418	1,531,892
仕掛品	2,063,029	1,812,303
原材料及び貯蔵品	1,122,948	1,628,280
その他	395,311	520,350
貸倒引当金	△307,316	△308,522
流動資産合計	20,753,776	21,692,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,881,975	4,769,586
その他（純額）	3,991,981	4,067,765
有形固定資産合計	8,873,956	8,837,352
無形固定資産		
のれん	668,199	559,718
その他	350,267	304,888
無形固定資産合計	1,018,466	864,606
投資その他の資産	2,349,924	2,279,427
固定資産合計	12,242,347	11,981,387
資産合計	32,996,124	33,673,524
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,180,304	2,563,421
短期借入金	455,790	316,660
未払法人税等	524,585	470,230
製品保証引当金	20,606	27,172
賞与引当金	454,735	448,460
その他	2,162,069	2,227,080
流動負債合計	5,798,092	6,053,024
固定負債		
長期借入金	114,800	109,900
退職給付に係る負債	1,075,680	1,122,177
その他	492,396	448,314
固定負債合計	1,682,877	1,680,391
負債合計	7,480,969	7,733,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,118,118	3,123,490
資本剰余金	3,306,347	3,311,719
利益剰余金	18,441,180	19,158,495
自己株式	△809,696	△809,769
株主資本合計	24,055,950	24,783,936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	705,332	649,661
為替換算調整勘定	730,888	479,615
退職給付に係る調整累計額	△57,266	△47,601
その他の包括利益累計額合計	1,378,954	1,081,676
非支配株主持分	80,250	74,495
純資産合計	25,515,155	25,940,107
負債純資産合計	32,996,124	33,673,524

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	9,351,313	10,580,339
売上原価	5,626,769	6,290,103
売上総利益	3,724,543	4,290,235
販売費及び一般管理費	2,811,238	3,003,516
営業利益	913,304	1,286,719
営業外収益		
受取利息	3,038	5,649
受取配当金	19,555	25,466
受取賃貸料	15,109	15,189
為替差益	58,857	87,835
太陽光売電収入	7,799	7,749
その他	19,903	30,396
営業外収益合計	124,264	172,287
営業外費用		
支払利息	22,173	17,255
太陽光売電原価	6,230	5,490
その他	7,381	3,389
営業外費用合計	35,785	26,135
経常利益	1,001,783	1,432,871
特別利益		
投資有価証券売却益	2,676	—
特別利益合計	2,676	—
税金等調整前四半期純利益	1,004,460	1,432,871
法人税等	417,384	480,890
四半期純利益	587,075	951,981
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21,113	△2,389
親会社株主に帰属する四半期純利益	608,189	954,370

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	587,075	951,981
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	176,038	△55,671
為替換算調整勘定	△178,429	△254,638
退職給付に係る調整額	14,970	9,665
その他の包括利益合計	12,579	△300,644
四半期包括利益	599,655	651,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	621,717	657,092
非支配株主に係る四半期包括利益	△22,061	△5,755

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,132,634	1,003,961	9,136,596	214,716	9,351,313
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,132,634	1,003,961	9,136,596	214,716	9,351,313
セグメント利益	792,299	76,584	868,883	44,421	913,304

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器、健康食品及び人材派遣事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	868,883
「その他」の区分の利益	44,421
四半期連結損益計算書の営業利益	913,304

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ポンプ事業」セグメントにおいて、平成29年4月12日付でHydrodyne(India) Pvt. Ltd. 社株式の51%を取得したことから、のれんの金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては886百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,416,567	883,444	10,300,012	280,327	10,580,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,416,567	883,444	10,300,012	280,327	10,580,339
セグメント利益又は損失(△)	1,271,000	△25,780	1,245,220	41,498	1,286,719

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,245,220
「その他」の区分の利益	41,498
四半期連結損益計算書の営業利益	1,286,719

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	前年同期比 (%)
ポンプ事業 (千円)	9,702,499	9.3
電子部品事業 (千円)	883,431	△12.0
報告セグメント計 (千円)	10,585,931	7.2
その他 (千円)	177,209	△2.4
合計 (千円)	10,763,141	7.0

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
ポンプ事業	12,269,001	29.0	9,780,891	31.6
電子部品事業	874,387	△15.1	161,599	△12.4
報告セグメント計	13,143,389	24.7	9,942,490	30.6
その他	249,796	△7.9	84,545	△32.7
合計	13,393,185	23.9	10,027,036	29.5

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	前年同期比 (%)
ポンプ事業 (千円)	9,416,567	15.8
電子部品事業 (千円)	883,444	△12.0
報告セグメント計 (千円)	10,300,012	12.7
その他 (千円)	280,327	30.6
合計 (千円)	10,580,339	13.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。